

4 自然との共生

～自然との絆を深め自然と共に生きる「福井」をめざして～

エコシステムアプローチ^{※1}の考え方が広く社会に浸透し、すぐれた自然から身近な自然環境に至るまで生物多様性の保全が総合的に図られるとともに、自然との豊かなふれあいのある社会をめざします。

このため、自然環境基礎データの活用の推進などを図り、県民や関係機関など地域の自然に関わる関係者間の情報の共有化を進めます。

また、既存の各種自然環境保全施策をより一層推進するとともに、近年新たな問題となっている里地里山の保全・活用策について、農林業や土木などの関連施策との連携を強化するなど施策横断的な取組みによって、森林・農地・水辺地等の維持・形成や子ども達の自然体験機会の増加等を図ります。

① すぐれた自然環境の保全

- ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園等の保全・管理

② 身近な自然環境の保全

[里地里山の保全および活用]

- ・ 希少野生生物の生息・生育地として特に重要な里地里山（「重要里地里山」）の抽出と保全・活用の推進
- ・ 地元住民やNPO、ボランティア等と連携した希少野生生物の生息・生育地の維持管理や監視（福井県版グリーンワーカー制度）

[身近な地域における自然環境の復元]

- ・ 公共事業における多自然型工法の採用や学校ビオトープの整備への技術的支援

[市民活動等との連携]

- ・ 自然保護センター、海浜自然センター等を中核とした地域支援ネットワークの形成



ビオトープ（味真野小学校中居分校）

③ 希少野生動植物の保護など生物多様性の確保

- ・ 福井県版レッドデータブック(植物編)の作成や自然環境情報の集積
- ・ 公共事業等における生息・生育環境保全への配慮
- ・ 移入種の侵入防止や駆除対策の検討



ヤシャゲンゴロウ
(国内希少野生動植物種)

※1 エコシステムアプローチ：人間と自然環境の関わり方に関する基本的な姿勢・方針。生物多様性条約において国際的に合意され、国の「新・環境基本計画」や「新・生物多様性国家戦略」でも基本方針とされている。

④ 野生鳥獣と人間社会との共生

- ・ シカにかかる特定鳥獣保護管理計画の策定および科学的・計画的な個体数管理

⑤ 自然とのふれあいの推進

[自然観察会等ソフト事業の充実および人材育成]

- ・ 自然観察会や自然体験講座などソフト事業の充実
- ・ ナチュラリストリーダーやジュニアフォレストサポーターの養成
- ・ エコツーリズム^{※1}、グリーン・ツーリズム^{※2}の推進

[森や水辺でのふれあいの機会や場の創出]

- ・ 水辺に近づくる河岸やせせらぎの創出、遊歩道の整備
- ・ 市街地周辺等における生活環境・自然環境を保全・創出するための森林整備



水辺整備（一乗谷川）

⑥ 自然環境基礎データの収集と活用

- ・ 「みどりのデータバンク調査」をはじめ自然環境に関する基礎データの収集
- ・ 生物多様性保全や景観保全の観点による自然環境保全方針の策定

⑦ 緑の確保など自然環境等への配慮

- ・ 里山や田園地域の保全等による環状緑地、道路緑化による放射状緑地の形成
- ・ 生物の生息・生育環境や自然景観の保全の観点に立った川づくりの推進

⑧ 健全な水循環の確保

- ・ 地下水の過剰揚水の抑制や透水性舗装の推進などによる水循環の確保

⑨ 良好な景観の確保と形成

- ・ 地域の気候・風土に合った街路樹等の植栽
- ・ 海岸背後地の植栽や養浜、親水緑地等の整備による海岸環境の保全・復元

⑩ 歴史的文化的環境の保全

- ・ 重要伝統的建造物群保存地区の歴史的風致の維持
- ・ 歴史に関連する道や街道の調査および保存・整備



熊川宿

※1 エコツーリズム：動植物などの自然資源に恵まれた地域で、自然環境との共存を図りながら、自然観察などを行い、環境や自然を学ぶ観光

※2 グリーン・ツーリズム：農山漁村の自然や文化に触れながら、農林漁業体験や地元の人々との交流を通して心身をリフレッシュしようという体験型の観光